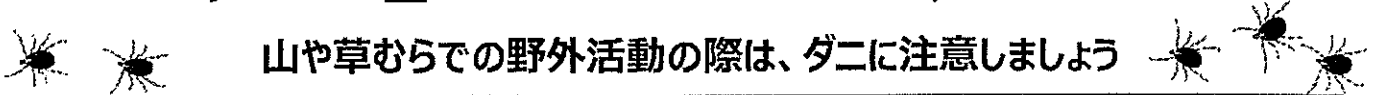


# 「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

## ダニに咬まれないためのポイント！

### ●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

### ●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

### ●足を完全に覆う靴を履く

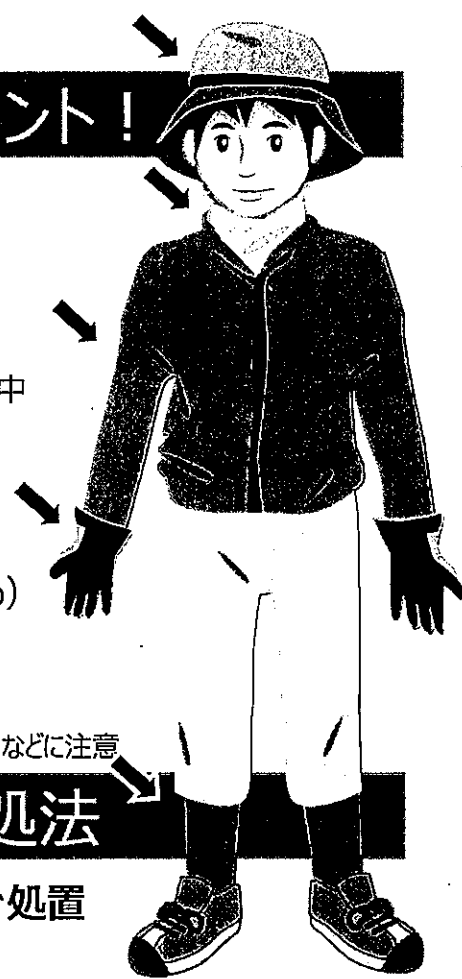
⇒サンダル等は避ける

### ●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

\* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

\* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



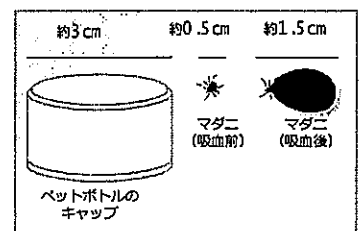
## ダニに咬まれたときの対処法

### ●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

### ●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

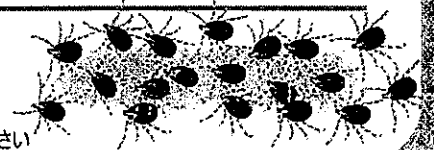
【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の目付け、②場所、③発症前の行動



## ダニ媒介感染症（厚生労働省）

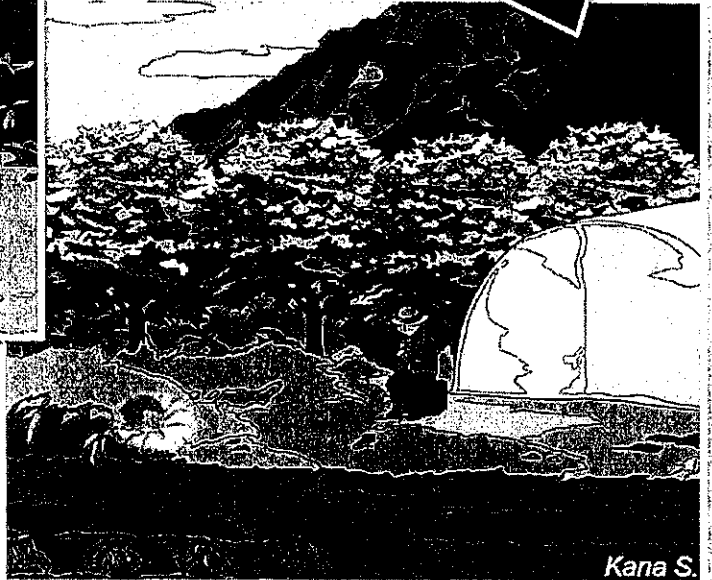
各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください



# <マダニの生息場所と身を守る方法について>



マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

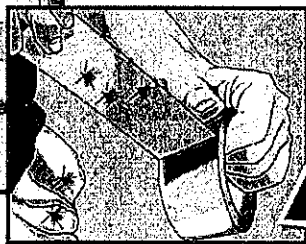


マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

## マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部  
Tel: 03-5285-1111 (代表)  
Fax: 03-5285-1178  
e-mail: info@nih.go.jp

## SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所  
Tel: 03-5285-1111(代表)  
厚生労働省健康局結核感染症課  
Tel: 03-5253-1111(代表)